



学校田も大豊作

もちつきで収穫祭

相内小学校（原田良二校長・児童数15人）では、十一月十八日学校田からとれたもち米でもちつきをし、親子で一緒に試食する収穫まつりを行いました。

同校では、「自分たちが植えた稲を観察しながら農業を認識させよう」と、三年前から、ゆとりの時間を利用して田植え、除草、稲刈りを行ってきました。

今年も五月三十日、五、六年生の児童五十人が田植えをし、除草作業や定期的に観察するなど学習に役立ててきましたが、今年は学校田も大豊作で、十月一日稲刈りをしたところ三〇の田んぼから、百三十〇のもち米がとれました。

もちつき大会では、一年生から六年生まで全校児童が体育館に集まり、もちつきを開始。父母や先生たちにもまじって子供たちも交代でもちつきに挑戦。ふらつきながらも仲間たちの「ヨイショ、ヨイショ」の声援に、キネを振るっていました。

この日ついたもち全部で六十、余り、子供たちはさたてのもちをほおばったり、お母さんたちが作ってくれたおしるこに舌鼓を打った後、紅白のもちを家族へのおみやげとして持ち帰りました。



仲間の声援に、キネを高々と……
お父さんの手はつかないでね



紅白のちは、家族へのおみやげ用としてお母さんたちがつくりました。

今日の主な記事

- 「津軽テクニカ」工場増築……………2
- ヘッドホーンステレオ
米国へ向け初出荷……………3
- 米寿おめでとぅ……………3
- 「1日消防士」……………4
- 献血ありがとう……………5
- 歴史漫歩……………6
- おしらせ……………7
- 健康への道
戸籍の窓……………8

産業振興センター津軽テクニカ

工場増築で完成式

業務拡張で

二百人雇用の足がかり

産業振興センター津軽テクニカ（佐野実代表）では、音響事業の拡大と生産量の増大を図るため、工場の増築工事をすすめてまいりましたが、このほど完成し、十月十三日工場の増築完成式を行いました。

完成した工場は、一千五百十八平方メートル、これまでの工場に六百四十八平方メートル増築したため、増築工事は電気、防災設備、給排水設備等を含

めて四千五十万円でした。工場増築完成式は同工場で開催され、従業員百三十四人のほかに、株式会社東芝音響の熊谷榮一郎工場長、津軽東芝音響株式会社桜井可清社長、音響株式会社桜井可清社長、三重村関係者ら多数出席し、三重村副村長が、「私どもの予想をはるかにこえて業務拡張という画期的な段階を迎え、二百人雇用体制の足がかりと、一億円産業が着実に定着しつつあることに大きな感動を覚える。今後は技術、技能を研磨して良質の製品を作り、地域経済活性化の先導的役割を果たしてほしい」と、式辞を述べ従業員を激励したあと、



産業振興センターの増築完成式で祝辞を述べる熊谷工場長



工場増築で、従業員は134人となりました。

東芝音響熊谷工場長、津軽東芝音響桜井社長から祝辞がありました。また、工場の増築記念として、株式会社東芝音響工場（熊谷榮一郎工場長）から市浦村に対し、「東芝カラオケ天狗」津軽東芝音響株式会社（桜井可清社長）、津軽テクニカ（佐野実代表）からは、「東芝方ラジテレビ」が寄贈されました。

産業振興センター津軽テクニカでは、昭和六十年三月から二百人体制にする計画で、会社案内、説明会などを開催し、女子従業員の募集をしています。

津軽テクニカの完成品

ヘッドホーンステレオ



米国へ向け初出荷

全従業員の拍手に送られ、初出荷されました。



今年二月一日操業を開始した市浦村産業振興センター津軽テクニカ（佐野実代表）では、十月十五日、同工場を組み立てたヘッドホーンステレオ「ウォーキーズ」の完成品千台を米国に向けて初出荷しました。

部品加工だけ始めた津軽テクニカは、将来の生産計画や従業員の増員に伴い、「何と完成品の作れる工場」と工場を増築し、十月十一日から従業員を百三十四人から拡充、組み立てから完成までの一貫体制に入っていました。この日は、完成品の入念な検査を行い、六個ずつタンポール箱に詰め、千台を初出荷式では工藤誠一郎助役（産業振興センター）所長が「津軽東芝音響との技術協力がうまくいき、従業員の能力が高まった。貴重な労働力を結果としてきた完成品が外国に向けて出荷されることは、本村にとって画期的なことである。今後とも信頼される製品を作り続けてほしい」と従業員を激励しました。

出荷式後、完成品を積み込んだワゴン車が、従業員や関係者の大きな拍手に送られ、横浜港へ向け出発しました。なお、完成品の第一号器は村役場に記念品として贈られました。



小寺やささん 浜田男茶さん 後藤志わさん 佐藤アサさん

米寿 おめでとぅ

これから元気で

今年も簡保から記念品

郵政省簡易保険局では、今年も「米寿」を迎えた人たちに記念品を贈りました。

簡易保険郵便年金事業では創立以来、種々の加入者福祉施設を設け、加入者の福祉増進を図ってきています。

このような加入者福祉施設のうち、高齢の加入者に対しては、健康の保持・増進、心身の保養の場として、加入者ホームを設けているが、特に米寿（八十八歳）を迎えた人



三和孝徳相内郵便局長から記念品が手渡されました。

々（加入者でない人も含む）に対しては、昭和四十四年から記念品を贈呈しています。対象になる人たちはそれぞれ大正、昭和の困難な時代を社会の中堅として活躍し、簡易保険郵便年金事業に協力された人ならではのので、米寿を祝い、あわせて感謝の意を表しようというものです。

本村では、相内地区の佐藤アサさん、磯松地区の後藤志わさん、十三地区の浜田男茶さん、小寺やささんがめでた

県内各地で「スズメバチ」の被害が発生していることが新聞、テレビで報道されていますが、村内でも「スズメバチ」の巣が見つかり、十月

三日、消防署員の手によって取り除かれました。「スズメバチ」の巣を見つけたのは、太田地区の丸山幸春さん。家のまわりにハチが多

スズメバチの巣除去に 「悪戦苦闘」



除去したスズメバチの巣を手にする消防署員

いのに気づいた丸山さんは物置や作業小屋をまわって、小屋の北側軒下に大きな巣を発見したものです。

気がなった丸山さんは、すぐ村役場へ連絡し、調べるころ「スズメバチ」の巣であることがわかったため、村では、連軽北部消防本部市浦分署へ駆除を依頼しました。

消防署員は、日暮れとなる午後六時ごろから約一時間かけてハチと、激戦戦したが、この巣には約六百匹ものスズメバチが入っており、ちよつとまちがえば生命にかかわることから、防火衣で身

を包み、真剣そのものでした。取り除いた巣は、安全を確認した後、学習教材用として相内小学校へ寄贈しました。

教育委員に白川、成田氏 人権擁護委員に安田氏



白川行雄氏



成田永吉氏



安田源蔵氏

任期満了となっていた市浦村教育委員と人権擁護委員が去る九月開会された村議会定

例会で、次のように選任、推せんされました。

◇教育委員
再任 白川行雄氏（68歳）相内
再任 成田永吉氏（66歳）磯松
新任 安田源蔵氏（75歳）十三
再任 安田源蔵氏（75歳）十三

◇人権擁護委員

「一日消防士」



防火の大切さ

再認識



櫛引 浩二さん
市浦中3年B組

「一日消防士」になる日だ。朝、起きてそう思いながら

学校へ行った。教室に入っ
てしばらくすると、呼び出しが
かかり、職員室の前に行く
消防署の人たちが迎えて来て
いた。

消防署では、ふけていてや
さしそうな人がわたしたちを
迎えてくれたが、その人が著
長さんであった。もつときつ
い感じの人だと想像していた

のだが、やさしい署長さんで
ホッとした。

私たちは、「一日消防士」と
しての日程を聞いたあと、制
服に着替えて朝礼に参加した。

消防士のみならずは、ピリ
ッとできていて、ものすごく
感じがよかった。朝礼のあとと
私たちは、消防車で中里町にあ
る消防本部へ辞めた。

本部では、辞令式のと、
中里、金木、小泊、武田、内
海中学校の生徒たちと一緒に
勉強をしたが、学校とは違っ

て楽しいものであった。

消防署で準備してくれた昼
食のあとは、それぞれの地元の
各分署に振り、「一日消防士」
として、その任務に着くこと
になった。

消防自動車、救急車につい
てのしくみや勤務体制などを
くわしく説明を受けたが、救
急車については、普通三人必
要なのだが、ここでは人数が
少ないため二人しか乗って
ないということだった。

銀色の防火衣とヘルメット

火災防止

各家庭が気をつけて



秋田谷美代子さん
市浦中3年A組

いるのです。

火災が発生するとすぐ現場
へ向うのですが、遠いため早
く着くことはできません。「
消防は何をされているんだ」と
よく言われるんですけど、別
に火災が大きくなるわけでは
ないと思うので、早く着い
て、一秒でも早く着いて火災
が広がらないように努力して
いるのです。

初めて消防士の生活、仕事
の内容を見てきました。ただ火を
消すとか、救急車をケガ人を
運ぶといったことだけしか
ないと思っていたのですが、本
当は、もつと、もつと苦勞して

私の家ではまだ火事を起し
たことはありませんが、どう
して火事が起るのか不思議
です。それぞれの家庭で気をつ

く、火の始末をすれば火事は
起こさずにすむのです。
消防士の持つホースやポン
プなどは、重くてわたしたち
には長い時間持つてはいられ
ません。そのほか、倒れては
いけません。そのほか、倒れて
は、とても消防士とは体力の
いる仕事だなぁ、と思います。
それに、用具なども多くて
よく使われて、壊れやすい
ものなので、つくづく思いま
した。

分署の中には、約六〜七人
いて、二十四時間交代で署の
中で連絡を待ったり、物の整
理、車の点検などをしていま
すが、火災など起こらないと
思ってしまう。



放水訓練をする一日消防士の櫛引くんと秋田谷さん

大きい署の方へ行くと、い
ろいろと消防についての話を
してくれました。分署とは違
って人が多くいました。
今まで、火災のために使っ
たお金は普通家庭ではとれ
ないような大金です。
「一日消防士」になって感じ
たことは、大変な仕事である
ことと、消防士の苦勞も少し
はわかりました。

秋の火災予防運動は、十月
二十一日から十月二十八日ま
で行われましたが、津軽北
消防事務合(竹谷豊明海防
長)では、運動期間中、防火
宣伝(パレードや火災予防立音
板の設置など)を行ったほか、
「一日消防士」として市内中
学校の代表を招き、放水訓練
や水利点検など、消防署の仕
事について体験してもらい、
防火意識の向上に努めました。
以下は、「一日消防士」となっ
た市浦中学校の節引浩二君、
秋田谷美代子さんが寄せた感
想文です。

献血協力ありがとう

二三〇本で目標達成



上：献血は検査をしてから行きます。
下：今年もみなさんのご協力をいただきました。

献血協力者 脳元地区

一回 山田博伸、山田正伸、山田勝由、柳引松三、山田セイ子、斉藤恵子、佐藤たか、葛西セツ、葛西チヨエ、柳引みつ子、工藤愛子、工藤陽子、笹山祐子、斉藤ユイ子、高橋玲子、成田みさ子、成田チセ、成田セチ、林崎烈子、山田千代美、山田美子

藤田金次郎、葛西ミツエ、後藤美智子、新岡ユリ子、藤田キネ、村元やす子、村元イヅ、村元セツ、村元道子、藤田リツ
二回 木村兼一、藤田順、藤田龍道、大川ひとみ、新岡とみえ、後藤京、村元悦子

重、浜田幹子、浜田郁子、福島セツ、松本芳子、藤田てい子、棟方由美、横山菊子
二回 沢田茂隆、高田正嗣、中島成雄、加納あや子、円子恵恵子

献血協力者 磯松地区

一回 新岡正継、佐々木博勝、菅原利耕、奈良源悦、鳴海萬野上孝憲、三浦勝彦、村山恭一、吉田均、山田春美、小川さつ子、川口タケ、佐藤トク、佐々木ゆみ子、大性みち子、藤田知子、三和早苗、三和のり子、三上三美子

一回 有馬敦、岩間正俊、上野清人、小倉勝彦、大沢史己、近藤昌造、田中清則、藤元恒徳、奈良幸三郎、松本紀久夫、藤田道一、加納フミエ、本荘美佐子、古川君子、秋田谷チ子、岩間奈保子、浦田雪江、小山内千津子、渋谷孝子、豊島美枝、奈良ふみ子、中島八千津子

二回 小田桐春雄（稲垣）佐々木演義（五所川原）山内洋子（小治）秋田文男、石沢夫、小寺祐吉、佐藤辰次（以上車力）泉谷佳司、野宮富子（以上金木）秋元取、千田野一（以上木造）小野敏明、川村清造、佐藤敏文、竹内彦次郎（以上中里）
二回 成田勝義（金木）

献血協力者 磯松地区

二回 葛西達也、川内敬春、桑野邦夫、竹谷泰一、成田英治、葛西節子、竹谷ヨシエ、三上美子、山田智枝子、山田千津子

二回 葛西達也、川内敬春、桑野邦夫、竹谷泰一、成田英治、葛西節子、竹谷ヨシエ、三上美子、山田智枝子、山田千津子

二回 葛西達也、川内敬春、桑野邦夫、竹谷泰一、成田英治、葛西節子、竹谷ヨシエ、三上美子、山田智枝子、山田千津子

献血協力者 桂川地区

一回 秋田谷幸司、秋田谷清二回 山田達一

一回 秋田谷幸司、秋田谷清二回 山田達一

一回 秋田谷幸司、秋田谷清二回 山田達一

献血協力者 大田地区

一回 小野孝弘、古川誠人、鳴海るみ子、青山ミツエ、長利れい子、木村ヒサ、下沢ハツ子、奈良サツ

二回 奈良新一、奈良孝一、奈良孝博、間山弘海、奈良茂

二回 奈良新一、奈良孝一、奈良孝博、間山弘海、奈良茂

広報しらふ

献血協力者 相内地区
一回 三和親規、糸谷隆則、

二回 佐藤二郎、白川孝治、

二回 奈良新一、奈良孝一、奈良孝博、間山弘海、奈良茂

愛の寄金ありがとう

相内青年団（上野深団長）

では、村老人クラブ連合会へ現金四万二八八円を寄付しました。

このお金は、九月十日開催した村民カラオケ大会の際、募金箱を置いて集めたもので、資金不足の老人クラブ連合会では、「今後の活動に役立てたい」と感謝しています。

このお金は、去る十一月二日から四日までコミュニティセンターで開催した「ふるさとまつり」の際「綿菓子」を売った剰余金です。

綿菓子機は、県社会福祉協議会から借りたもので、地元脳元保育所でも綿菓子のサービスをし、園児や父母から喜ばれました。



綿菓子をサービする
団員（脳元保育所で）



霧山

奥の島津元



霧山には、人工造山説もありますが、はたしてそうでしょうか。(磯松部落から見た霧山)

S・N・L
S・N・L南北線が気になるこの方です。青森県地

図上で、わが霧山と津軽富士とを線で結んでみました。まさにS.N.を指していることに一驚します。しかも、さらに驚くことには浜の大

明神跡といわれる湊神社がS.N.L上に確実に位置しています。昔の羽黒権現の羽黒崎もこの線上にあります。今年暮ヶ沢町で発掘した建石大曲道路の原始宗教跡も厳然と位置して一驚く外はありません。

晴れたある日、浜の大明神跡に立つて北を木の間から温和な霧山を眺めることが出来ますし、南にくつきりと優雅な津軽富士を拝することが出来ます。まさに津軽のソウルライン(霊魂線)ともいうべきものとも思われます。

安東水軍目標の山

おそらく安東水軍船その外の交易船が、浜の大明神の常夜燈に導かれ、水戸口を無事通過した後、この霧山を目標にして入港したも

のと思われまふ。また、出船の折には南の岩木山を目標にして大海へと出たものではないでしょうか。

大正末年頃、海岸近くを毎日のようにいる、岸の大群が通つたものです。そのいるかは必ず脇元沖と明神沖とで七回円を描いて廻遊して通過したものでした。まさにソウルマウンテン(霊魂山)なわけです。

アイヌ語のもや山

アイヌ語の権威者山田秀三氏の言葉を借りまふと、北海道のモイ・ワ山から来た言葉らしいです。イワはアイヌ語で、「神さまのいらつしやる山」という意味です。モは「小さい」という意味です。「小さな神さまのいらつしやる山」がモイワ山の意味となります。「イワ」を訳つていうと、「ヤ」に通じませんが、モイワ山がモヤ山となつたんだと思ひます。

中山山脈の西側に、しかもぼちんと独立したモヤ山は、私たちの郷土の先住民

の靈地であつたものでしよう。

朝鮮系では、「杜」(神靈の宿る小高い所)が「モロ」です。「モロ山」を弥生時代の遺産だとすると、「モヤ山」は縄文時代の言葉と思われなくなりません。

人工造山説

霧山には、人工造山説があります。はたしてそうでしょうか。東側にまわつてみると岩肌をとめることが出来ます。もや山の基底

は岩山であらうと思ひます。獅子岩の発見もありますが、日本海からの西風に吹きまわられた砂が、岩山に積つて現在のような霧山の姿になつたものではないでしょうか。

(市浦村史編纂委員長)

津軽のことわざ ②

はの部

話(はなし)してら処(と)サ来れば津軽衆(つるがら) 嘘(うそ)をしていれば、不思議にその本人が表(あら)われたいという意(い)を、すすれば影(かげ)とやら、話(はなし)の腰折(こし)る 人が話(はなし)してゐるのに要(い)らぬ口出(くちだ)しをする こと。

話(はなし)半分(はんぶん) 話(はなし)はとく誇(こ)張(ちや)されやうい。半分(はんぶん)に割(わ)りきして聞(き)いておく(おく)と聞(き)違(ちが)いがな(な)いという意(い)。

鼻(はな)たらし(はな)ばかの意(い)。花(はな)盗(ぬす)人は盗(ぬす)人(ひと)でない。花(はな)の美(うつく)しさ(うつく)しかれてつ(つ)い一枝(いち)、無(む)断(だん)で失(う)敗(ぱい)する(する)のは風流(ふうりゅう)心(こころ)による(による)ものだから、盗(ぬす)みとして(として)がめる(がめる)のは酷(こ)である(である)という意(い)。鼻(はな)の下(した)長(なが)げ(げ)え、女(おんな)にだらし(だらし)のない男(おとこ)のこと。

花(はな)持(も)たせる 功(こう)をす(す)る人(ひと)に仰(おほ)す。花(はな)より団(だん)子(こ) 風流(ふうりゅう)より腹(はら)の方(かた)が先(ま)きというわけ。花(はな)より団(だん)子(こ) 慶(えい)育(いく)ちア三(さん)安(あん)い、祖母(そぼろ)に甘(あま)やかされて育(そだ)つた子(こ)などは、しつかりしたところがないの(の)をい(い)ふ。

早い者(はやいもの)勝(かち)ち 先(ま)んずれば人(ひと)を制(せい)す。腹(はら)痛(いた)む 困(こ)惑(わく)したと(と)いふ。

情報をお寄せください

おしらせ

役場の電話は62-2111



すこやか日記
長男 英嗣ちゃん
(3歳)

はいくしよでおゆうぎかいの
れんしゅうしています。
はくは、おやまのおさるをや
るんだ。

安全で明るい出稼ぎを

— 事故見舞金制度に —
— 加入していますか —

事故見舞金制度とは、出稼ぎ労働者および留守家族のしあわせのために、県と市町村がつくった出稼協会でいう互助制度です。

出稼ぎする人がみんなで加入し、掛金を出し合ってお互いに助け合います。

加入した出稼ぎ労働者は出稼ぎ期間中いつ、どこで災害にあっても見舞金が受けられます。

出稼ぎ労働者とは、1ヵ月以上不滿居住地を離れて就労し、就労後居住地に帰る人をいいます。(県内外の就労を問いません)

加入申し込みは、市浦村役場・脇元・十三出張所で受付けています。

掛金は、1人年間600円です。

見舞金早見表

種類	事故・災害の程度	給付額
死亡見舞金	出稼中(出発から帰宅まで)における死亡、ただし、一歩着中の死亡を除く	500,000円
傷病見舞金	出稼中における負傷又は疾病で休業を要するもの 6月以上6月未満であるもの 3月以上6月未満であるもの 1月以上3月未満であるもの	80,000円 60,000円 50,000円
障害見舞金	出稼中における負傷又は疾病による障害で通常の就労を不能とする程度のもの	200,000円
火災見舞金	加入者の留守宅の火災による焼失(半壊以上)	80,000円
加入者見舞金	加入者の出稼就労先関係者の火災で加入者に著しい損害を生じさせたもの	30,000円

ボイラー一級士免許試験

2級ボイラー一級士免許試験及びこれに伴うボイラー講習会が、次により実施されます。

◆2級ボイラー一級士免許試験(国家試験)

▶試験申請書受付 昭和59年12月18日から19日まで。

▶試験日 昭和60年1月24日

▶試験会場 青森市

▶受験資格 ボイラー実技講習会の課程を修了した者。

◆ボイラー実技講習会(条件講習会)

▶日時 12月12日から14日まで(3日間)

▶会場 (社)西北労働基準協会
▶受講料及びテキスト代 受講料8,000円、テキスト代4,400円。

◆2級ボイラー一級士免許試験準備講習会(学科)

▶日時 1月8日から11日まで(4日間)

▶会場 (社)西北労働基準協会
▶受講料 9,000円

◆連絡先 五所川原市字新宮 84の5

社団法人 西北労働基準協会
電話(0173)35-6336

青森県最低賃金が改正されました

改定内容

最低賃金額 1日 3,044円

賃金の大部分が時間によって定められている者(時間給者)については、1時間 381円

実施年月日 昭和59年10月19日
ただし、次に掲げる賃金は、最低賃金額の算定には含まれません。

除外賃金

- (1)精習手当、(2)通勤手当、(3)家族手当、(4)臨時に支払われる賃金、(5)1ヵ月を超える期間ごとに支払われる賃金(賞与、期末手当など)、(6)時間外労働・休日労働に対して支払われる賃金及び深夜労働に対する割増部分の賃金

適用される範囲

1. 最低賃金は、事業場ではたらく常用・臨時・パートなどのすべての労働者と労働者を一人でも使用しているすべての使用者に適用されます。

2. 「青森県最低賃金」は、産業や職種にかかわらず県内のすべての労働者とその使用者に、「産業別最低賃金」は、食料品製造業、繊維産業など特定の産業にはたらく労働者とその使用者に、それぞれ適用されます。



たばこ消費税は暮らしの中でおかれています



●たばこは地元で買ひましょう。



柏谷 哲治さん
(21歳・柏内)

けてからこそ成り立つものではないかと思うのです。

人と良い礼儀で対応することよく話すことができて、あり相手に対して悪い気持ちをあたえたのならそれは自分自身の印象を悪く見せるだけにすぎません。

このような地域社会の中では人ととの対応が毎日の世の中ですし、その中の挨拶は社会にかかせない重要なものだと思います。

広報ONE

人との対応

人と人との出会いには、相手に対して失礼にならないような態度やふるまいが大切だと思います。挨拶一つでできる人はなすをやつてもその目的を果すのさえ難しいと思います。たとえば、人前に立つて話をするということは、常に礼儀といった常識を身につ



食生活と成人病

— 児童・生徒の血圧測定と味覚調査 —

びついていく原因になってい
る」という関係者の話もあり
ます。

学校側の全面的な協力を得
て実施した、「食べ物の傾向と
子供たちの血圧測定」では、
次のことがわかりました。

子供たちの好きな食べ物は、
ハム、ソーセージ類、トンカ
ツ、からあげ等の肉類。
嫌いな食べ物は、魚・野菜
類で、菓子類でも、塩分の多い
スナック菓子、糖分の多い
チョコレート等、長期に食べ
続けることと、成人病になる
ことが予測される傾向にある

こと。この子供たちについては、
定期的に血圧測定をしていく
ことを検討しています。

成人病は、体の中に根づい
てもある年齢にならないと症
状を現わさないという特徴が
あります。「こんなに食べて
も何ともない」と、だからだ
ら生活を送っていると大変なこ

ものばかりです。

血圧測定の結果については、
現在のところ児童、生徒の正
常値は示されていませんが、
他の子供たちに比較して高い
と思われる人が数十名いまし
た。

この子供たちについては、
定期的に血圧測定をしていく
ことを検討しています。

成人病は、体の中に根づい
てもある年齢にならないと症
状を現わさないという特徴が
あります。「こんなに食べて
も何ともない」と、だからだ
ら生活を送っていると大変なこ

とになります。親の義務とし
て、今一度子供の生活を考え
てみてはいかがでしょうか。
担当：派遣保健婦
野宮 富子



各地区で開いている健康教室
には、もっと積極的に参加し
てほしいものです。

技量不足を感じる

三和 不二義

〈相内・21歳〉

第二回陸奥湾一周駅伝競走
大会が十月七日、むつ・青森
市二二区間(110・5・)の
コースで行われました。

この大会は、スポーツの振
興とスポーツを通して県民の



連帯感を高め、活力ある県勢
の発展に寄与することを目的
にしています。

わが村は今年も、地元の期
待を受けて、二十一人の選手
が参加し、起伏のはげしいハ
マナスラインや景色のよいみ
ちのちの路を走り、ゴールを
めざしました。最終結
果で村の部21位(村の部は23
チーム参加)。

私自身も、他市町村の強豪

選手と一筋に力走しましたが、
その結果は満足できるもので
はありませんでした。

長距離という不得意と練習
不足からくるコンディションの
悪さから、地元選手の足を引
張ったような気がしています。
チャンスさえあれば、来年
また参加したいと思ってい
るが、その時はベストコンデシ
ョンで挑みたいとも考えてい
ます。

窓の戸籍



お誕生

- 鎌田 祥佳(相内)和廣
- 一戸 智行(鶴田)俊一
- 白川 幸輝(十三)幸徳
- 長利 瑞喜(磯松)光義
- 三和 麻美(相内)得路
- 梶浦 静(十三)安男
- 竹谷 公仁(脇元)龍典
- 竹谷 雅代(脇元)裕治
- 三和 明代(相内)孝幸
- 秋田谷 桂博(桂川)忠雄
- 佐藤 麦穂(相内)一

ご結婚

おくやみ

- 山田 満(十三)
- 木村真佐子(青森)
- 坪谷 豊勝(青森)
- 小田桐美子(相内)
- 佐藤 一(相内)
- 本田 理子(東京)
- 原田 峰次(青森)
- 小寺えり子(相内)
- 小野 俊治(中里)
- 白川 敦子(相内)
- 松橋 時雄(十三)
- 三浦 愛子(北海道)

～んにちは赤ちゃん

相取睦夫さん(十三)
3女 和貴子ちゃん(8ヵ月)

おねえちゃんのおゆうぎかいにき
たのよ。おかあさんはおねえちゃん
のじゅんぴでいそがしいから、ひと
りであそんでるの!



- 植野清比良(太田) 58歳
- 小林 勝雄(相内) 76歳
- 奈良 キワ(太田) 47歳
- 柏谷 貢(相内) 46歳
- 濱田熊太郎(十三) 73歳
- 藤田 さき(相内) 86歳
- 古川 ヤエ(太田) 72歳
- 笹山重次郎(脇元) 84歳
- 種田 とみ(磯松) 82歳
- 奈良 タヨ(太田) 89歳